

父親意識の調査

佐々木敦子, 武井とし子, 湯本敦子

A Study of paternal images

As the society has changed, we have been focusing on fathers' role in family.

The aim of this study was to clear husbands' attitude, how he accepted and coped with becoming a good father, when he knew the diagnosis of his wife's pregnancy. The employed method was the sentence completion test (SCT).

22 husbands of primigravida and 32 husbands of multigravida were investigated.

63.6% of the husbands of primigravida and 59.4% of the husbands of multigravida reported happiness when they were told the pregnancy of their wives for the first time.

13.6% of the husbands of primigravida and 12.5% of the husbands of multigravida became more cooperative.

Good relationship between wife and husband and between children and his father affect to maternal images.

It is important to husbands to acquire knowledge and skills for fatherhood.

Key Words :

husband of pregnant woman, paternal images, cooperation

はじめに

1988年に妊婦の母親像についての調査を、文章完成法により行い発表した。調査内容のうち夫婦の関係においては、夫に対しての満足感の反応は70.9%であり、不満の反応は23.7%で、夫が父親になることの不安や夫へ

の苛立ちの感情のあることが認められた¹⁾。

続いて、産後に母親意識の変化を、同じく文章完成法によって追究し発表をしてきた。夫に対しては育児への協力の要求が多くみられるようになり、母性愛の発達について、夫の協力の大切さを痛感させられた²⁾。

最近、父性の役割についての関心が高まっ

てきており、さらに、1994年6月に母子保健法が改正されて、配偶者にも指導援助することが義務づけられるようになった。

これらのことより、より良い母子関係の発達のためには、父親のサポートが重要であるとの認識から、今回は妊婦の夫の意識を調査して、周産期の父性について追究することにした。

方法と対象

調査方法としての文章完成法とは、臨床心理検査の一技法として広く用いられており、未完成の短い文章を刺激として提示し、それに対して連想される自由な内容を付け加えて、文章を完成させるものである。妊娠期の母子関係に焦点をあてた川井尚ら³⁾の研究をもとに、前回に実施した妊婦の調査項目7領域38項目に従い、妊婦の夫を対象とした項目として、母親となっていたところを父親とし、また妊婦自身のことは妻に改変して、項目を作成し感情を記述させた。

対象は、1994年6～9月に信州大学病院に通院する初妊婦の夫22名、経妊婦の夫32名に、妊婦より夫に依頼をしてもらい、回答の協力が得られたものである。

初妊婦の夫の職業は、会社員11、団体職員3、公務員2、教員1、調理師1、自営業4である。

経妊婦の夫の職業は、会社員15、団体職員3、公務員2、教員1、研究員1、医師1、理容師1、自営業8であり、いずれも仕事に従事している。

結果

結果については、性について、また父親自身の母親との関係は削除して、父子関係に特に影響すると考えられた6領域24項目につい

て検討した。記述された項目ごとの反応内容を区分し、父親意識を明かにすることにした。

領域及び項目

領域I 父親と胎児の関係

- (1)初めて妊娠を知らされたとき
- (2)妻のおなかが大きくなってくると
- (3)出産
- (4)おなかの赤ちゃんの動くのがわかると
- (5)私はおなかの赤ちゃんに対して

領域II 父親と子供の関係

- (1)私は子供と
- (2)子供を育てることは
- (3)私の子供はきっと
- (4)子供が泣きやまないと
- (5)私は父親として

領域III 母親と子供の関係

- (1)妊娠に気付いたとき妻は
- (2)妻はおなかの赤ちゃんに対して
- (3)妻と子供は

領域IV 夫婦の関係

- (1)妻と私は
- (2)妻に対して私は
- (3)妻が妊娠して私が変わったことは

領域V 父親自身のこと

- (1)私は子供の頃
- (2)私は将来
- (3)心配なことは
- (4)困り果てたとき私は
- (5)仕事

領域VI 父親自身の親子関係

- (1)父は
- (2)私は父と
- (3)父に甘えたこと

集計については、初妊婦の夫、経妊婦の夫別に分類した。

反応内容については、各領域の項目に対する感情の記述を、ポジティブな反応について

は(+), ネガティブな反応については(-), どちらもいえない反応については(±)とし, なお, 反応のないものとに区分した. 解釈の方法としては, 問題点を把握することを目的として, 前回に実施した妊婦調査の反応を参考としながらも, 妊婦の夫に父親となるための積極的な反応を期待して, イメージされたことばを選別して, 項目についての反応の状況を把握した. 各々の項目については回答数を百分率で表記することにした.

1. 領域 I 父親と胎児の関係

(1)初めて妊娠を知らされたとき (表 I-1)

(+)の反応は, 初妊婦の夫では63.6%であり, 「うれしかった」「責任を感じた」などの内容である. また経妊婦の夫では59.4%であった.

(±)の反応は, 初妊婦の夫では22.7%であり, 「おどろきとよろこび」のどちらもいえない内容である. 経妊婦の夫では25.0%である.

(-)の反応は, 初妊婦の夫では13.6%で, 経妊婦の夫では15.6%にみられ, 「あわてた」「しまった」などの反応が多く, 妊娠の受け入れが十分ではない状況である.

(2)妻のおなかが大きくなってくると (表 I-2)

(+)の反応は, 初妊婦の夫では68.2%であり, そのうち「うれしい, たのしみ」は27.3%, 「成長, 実感」のよろこびも27.3%であった. 経妊婦の夫では62.5%のうち, 「うれしい, たのしみ」は15.6%, 「父親の自覚」は15.6%であり, 初妊婦の夫の方によるこびが多い.

妊娠による妊婦の身体の変化を, (-)の反応としては, 初妊婦の夫では22.7%であり, 「大変, 不自由」「異様」との反応がある. 経妊婦の夫では25.0%であり, その他に「ゆううつ」「しかたがない」などの悲観的な反応も

表 I-1 領域 I 父親と胎児の関係
項目 初めて妊娠を知らされたとき

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	うれしかった	45.5	63.6	50.0	59.4
	実感, 責任を感じた	18.2		9.4	
±	おどろきとよろこび	22.7	22.7	9.4	25.0
	不安と期待	0.0		3.1	
	性別が気になった	0.0		9.4	
	年を感じた	0.0		3.1	
-	あわてた, しまった	4.5	13.6	15.6	15.6
	不安	4.5		0.0	
	実感なし	4.5		0.0	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0	
合計		100		100	

表 I-2 領域 I 父親と胎児の関係
項目 妻のおなかが大きくなってくると

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	うれしい, たのしみ	27.3	68.2	15.6	62.5
	生命, 成長, 実感	27.3		9.4	
	子供の名前, 五体満足	9.1		6.3	
	父親を自覚する	4.5		15.6	
	妻の健康を気遣う	0.0		9.4	
	性別が気になる	0.0		6.3	
±	不思議	4.5	4.5	6.3	9.4
	不安と気遣い	0.0		3.1	
-	大変, 不自由	13.6	22.7	12.5	25.0
	異様	9.1		3.1	
	ゆううつ	0.0		6.3	
	しかたがない	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		4.5		3.1	
合計		100		100	

みられる.

(3)出産 (表 I-3)

(+)の反応は, 初妊婦の夫では45.5%, 経妊婦の夫は50.0%である. 「出産は大事業である」また「安産を祈る」気持ちか述べられている.

(土)の反応としては、「男でよかった」との男性を容認する反応がみられた。

(一)の反応は、初妊婦の夫では45.5%と多く、出産については、「大変なこと」として認識されており、「不安」の反応がある。経妊婦の夫でも43.8%であり、男には「理解できない」ことと21.9%が受けとめており、出産についての心構えの違いと判断される。

表1-3 領域I 父親と胎児の関係
項目 出産

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	大事業	27.3	45.5	28.1	50.0
	安産を祈る	13.6		18.8	
	人生の区切り	4.5		0.0	
	父親になる	0.0		3.1	
±	男でよかった	4.5	4.5	6.3	6.3
	大変なことだ	31.8	45.5	21.9	43.8
-	不安	13.6		0.0	
	理解できない	0.0		21.9	
Rej (反応のないもの)		4.5		0.0	
合計		100		100	

(4)おなかの赤ちゃんが動くのがわかると (表I-4)

(+)の反応は、初妊婦の夫では77.3%であり、その内容のうち「胎児の存在感、生命の神秘」に40.9%が反応している。「うれしい、よろこび」を感じる者が22.7%で多い。また動きを知って「父親としての自覚」をもつことができたとの反応は9.1%である。経妊婦の夫では71.9%であり、胎児に「がんばれ」と声援をおくるのは18.8%で、実際には動きを知ることによって実感は増大している。

(5)私はおなかの赤ちゃんに対して(表I-5)

(+)の反応は、初妊婦の夫は81.8%であり、経妊婦の夫は87.5%で、父親として「話かける」、赤ちゃんの「健康」を願い、「名前を考える」、妻を苦しめないで生まれて欲しい「安

表1-4 領域I 父親と胎児の関係

項目 おなかの赤ちゃんの動くのがわかると

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	存在感、生命の神秘	40.9	77.3	46.9	71.9
	うれしい、よろこび	22.7		6.3	
	父親の自覚	9.1		0.0	
	赤ちゃんがんばれ	4.5		18.8	
±	不思議	18.2	18.2	9.4	15.6
	女はしあわせそう	0.0		3.1	
	父母を思う	0.0		3.1	
-	心配	4.5	4.5	0.0	6.3
	おどろき	0.0		3.1	
	さわれない	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		6.3	
合計		100		100	

産」などの希望が多く、積極的な行動として示されている。

(-)の反応としては、初妊婦の夫では、「実感のない」者や「不安」を感じている者もいる。経妊婦の夫では反応のない者もいる。

2. 領域II 父親と子供の関係

(1)私は子供と(表II-1)

(+)の反応は、初妊婦の夫は100.0%であ

表1-5 領域I 父親と胎児の関係

項目 私はおなかの赤ちゃんに対して

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	話をする	36.4	81.8	31.3	87.5
	健康、名前を考える	31.8		28.1	
	安産であるように	13.6		28.1	
±	父母の生まれ変わり	4.5	4.5	0.0	3.1
	何もしてやれない	0.0		3.1	
-	実感なし	9.1	13.6	0.0	3.1
	不安	4.5		0.0	
	話しかけたりしない	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		6.3	
合計		100		100	

り、経妊婦の夫は87.5%が、「一緒に呑みたい、遊びたい」「仲良く」と子供や妻への期待は大きく、積極的な行動として示されている。

(-)の反応には、経妊婦の夫の9.4%は、上の子のことが持ち出されて「付き合う時間が短い」「喧嘩している」との反省の感情がみられる。

(2)子供を育てることは(表II-2)

(+)の反応は、初妊婦の夫は45.5%であり、「義務、責任」が18.2%、「楽しみ」が13.6%である。経妊婦の夫では46.9%であり、「楽しみ」の反応が28.1%と多くなっている。

(-)の反応は、初妊婦の夫では45.5%、経妊婦の夫では40.6%である。反応の内容としては子育ての経験の有無により「大変、むずかしい」と初妊婦の夫では40.9%、経妊婦の夫では31.3%が考えている。また「めんどろ」との反応もある。

(3)私の子供はきっと(表II-3)

(+)の反応は、初妊婦の夫は95.5%であり、経妊婦の夫では96.9%である。反応のない者以外のすべてが(+)の感情にあり、初妊婦、経妊婦の夫とも「良い子、明るい子」への期待が膨らんでいる。

表II-1 領域II 父親と子供の関係
項目 私の子供と

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	一緒に呑み、遊びたい	50.0	100.0	56.3	87.5
	仲良く	31.8		15.6	
	早く話がしたい	9.1		0.0	
	楽しい思い出をつくる	4.5		12.5	
	妻を大切に	4.5		3.1	
±	同じ生き物	0.0	0.0	3.1	3.1
-	付き合う時間が短い	0.0	0.0	6.3	9.4
	喧嘩している	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0	
合計		100		100	

表II-2 領域II 父親と子供の関係
項目 子供を育てることは

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	義務、責任	18.2	45.5	6.3	46.9
	楽しみ	13.6		28.1	
	成長する	9.1		6.3	
	困難を乗り越える	4.5		0.0	
	自然のなりゆき	0.0		3.1	
	生きがい	0.0		3.1	
±	楽しい反面苦しい	9.1	9.1	12.5	12.5
-	大変、むずかしい	40.9	45.5	31.3	40.6
	不安	4.5		0.0	
	めんどろ	0.0		6.3	
	自分の考えを押しつける	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0	
合計		100		100	

表II-3 領域II 父親と子供の関係
項目 私の子供はきっと

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	良い子、明るい子	22.7	95.5	28.1	96.9
	元気、スポーツマン	22.7		25.0	
	私より良い人間、大物	13.6		9.4	
	自立心のある子	13.6		3.1	
	私に似る	9.1		12.5	
	頭が良い	4.5		3.1	
	良い家庭を築く	4.5		0.0	
	二人の会話を聞いている	4.5		0.0	
	かわいい、やさしい	0.0		12.5	
	普通の子	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		4.5		3.1	
合計		100		100	

(4)子供が泣きやまないと(表II-4)

(+)の反応としては、初妊婦の夫は18.2%であり、経妊婦の夫では18.8%である。「あやす、抱く」「がまんする」「二人でがんばる」などの行動が示されている。

(±)の反応は、初妊婦の夫では27.3%、経妊婦の夫では28.1%である。「怒るががまん」

「心配」の受容型の反応である。

(-)の反応は、初妊婦の夫は50.0%、経妊婦の夫も50.0%である。「いらいらする」「いやになる」「何もできない」などの否定的な反応がみられる。また現状では反応のない者もいる。

(5)私は父親として(表II-5)

(+)の反応は、初妊婦の夫は77.3%であり、経妊婦の夫では59.4%である。「責任を果たす」「良い父親になる」など父親としてのあるべき姿が考えられている。

(-)の反応としては、初妊婦の夫は18.2%、経妊婦の夫は31.3%である。反応の内容としては「自覚なし」が多く、経妊婦の夫では「何もできない」「責任が重すぎる」「失格」などの声もあり、また反応のない者もみられ、父親像を模索する状況が伺える。

3. 領域Ⅲ 母親と子供の関係

(1)妊娠に気付いたとき妻は(表III-1)

(+)の反応は、初妊婦の夫は54.5%で、すべてが「よろこび」の反応である。経妊婦の

夫では75.0%であり、妻の反応として「よろこび」が多く、その他として「またできた」「当然」と受け入れられている。妻自身の反応としては妊娠を受容している者が多い。

(-)の反応は、初妊婦の夫は27.3%、経妊婦の夫は12.5%で、反応の内容としては、「不安」そうであり、つわりで「大変」などと、初妊婦である妻の変化への気遣いの現れがみられる。経妊婦では「変化なし」とみている者もいる。

(2)妻はおなかの赤ちゃんに対して(表III-2)

(+)の反応は、初妊婦の夫は95.5%であり、経妊婦の夫では78.1%である。妻の反応として、初妊婦は「話かける」愛着行動が45.5%、「気遣う」36.4%、経妊婦の夫では「気遣う」が34.4%、「話しかける」行動が15.6%である。

(-)の反応では、経妊婦の夫の12.5%は、妻は「神経質」「心配」など前回の妊娠の経験によるものか、経過を案じている様子がみられる。

表II-4 領域Ⅱ 父親と子供の関係
項目 子供が泣きやまない

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	あやす、抱く	4.5	18.2	12.5	18.8
	がまんする	4.5		6.3	
	妻と二人でがんばる	4.5		0.0	
	訴えを聞く	4.5		0.0	
	怒るががまんする	18.2	27.3	9.4	28.1
±	心配	9.1		18.8	
	いらいらする	13.6	50.0	18.8	50.0
-	いやになる	9.1		15.6	
	何もできない	9.1		3.1	
	泣く	9.1		0.0	
	大変	4.5		9.4	
	妻にまかせる	4.5		3.1	
	Rej (反応のないもの)	4.5		3.1	
合計		100		100	

表II-5 領域Ⅱ 父親と子供の関係
項目 私は父親として

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	責任を果たす	40.9	77.3	34.4	59.4
	子供の好きなように	9.1		9.4	
	良い父親になる	9.1		6.3	
	最低限のことをする	9.1		3.1	
	厳しくしつける	9.1		0.0	
	甘い	0.0		6.3	
	±	のんびりしていたい	4.5	4.5	0.0
-	自覚なし	9.1	18.2	12.5	31.3
	心配	4.5		0.0	
	大変	4.5		0.0	
	何もできない	0.0		9.4	
	責任が重すぎる	0.0		6.3	
	失格	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		9.4	
合計		100		100	

表Ⅲ-1 領域Ⅲ 母親と子供の関係
項目 妊娠に気付いたとき妻は

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	よろこんだ	54.5	54.5	62.5	75.0
	またできたみたい	0.0		6.3	
	当然	0.0		6.3	
±	不安とよろこび	18.2	18.2	9.4	9.4
-	不安	13.6	27.3	3.1	12.5
	ばつわるそう	4.5		6.3	
	大変	4.5		0.0	
	わからない	4.5		0.0	
	変化なし	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		3.1	
合計		100		100	

表Ⅲ-2 領域Ⅲ 母親と子供の関係
項目 妻はおなかの赤ちゃんに対して

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	話しかける	45.5	95.5	15.6	78.1
	気遣う	36.4		34.4	
	希望をもっている	9.1		3.1	
	元気で生まれてほしい	4.5		9.4	
	よろこび	0.0		9.4	
	女ならよい	0.0		6.3	
±	生きがいで夫は相手にされない	4.5	4.5	0.0	3.1
	希望と不安	0.0		3.1	
-	神経質になっている	0.0	0.0	6.3	12.5
	心配している	0.0		3.1	
	無関心	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		6.3	
合計		100		100	

(3)妻と子供は(表Ⅲ-3)

(+)の反応として、初妊婦の夫は95.5%、経妊婦の夫では81.3%である。反応の内容では「宝、大切なもの」「楽しくする」などの希望的感情の反応がみられる。

(-)の反応内容として、初妊婦の夫では「尊敬してくれるか」と気にし、経妊婦の夫では「喧嘩をしている」と上の子の現状を見て気にしているものと判断される。また反応のない者もみられる。

4. 領域Ⅳ 夫婦の関係

(1)妻と私は(表Ⅳ-1)

(+)の反応は、初妊婦の夫は90.9%であり、経妊婦の夫では84.4%で、「仲が良い」夫婦であるとの反応が多い。

(±)の反応として、初妊婦の夫では4.5%であり、「たまには喧嘩をする」がうまくいっていると反応している。経妊婦の夫では3.1%で、もっと「心豊かな人間に」ならなければならないとの反省の意識がある。

(2)妻に対して私は(表Ⅳ-2)

(+)の反応として、初妊婦の夫では77.2%と多く、経妊婦の夫では56.3%である。反応の内容として「愛情あり」「良い夫」と自負している。「協力的」なのは初妊婦の夫の18.2%であり、経妊婦の夫には反応がない。

(±)の反応としては、初妊婦の夫では13.6%であり、「大事にしようと思うがなかなか」と協力しない夫としての反省がみられる。経妊婦の夫では6.3%である。

(-)の反応は、初妊婦の夫では9.1%であり、経妊婦の夫は34.4%と多い。反応の内容としては「気遣わない」「協力しない」ことなどが挙げられている。

(3)妻が妊娠して私の変わったことは(表Ⅳ-3)

(+)の反応として、初妊婦の夫では72.7%であり、そのうち父親の「責任を感じ」ている者が27.3%、「協力的」は13.6%にみられる。経妊婦の夫では43.8%で、そのうち「協力的」なのは12.5%であり、その他、「仕事に情熱を持った」「タバコをやめた」などの具体的行動

表Ⅲ-3 領域Ⅲ 母親と子供の関係

項目 妻と子供は		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
反応内容					
+	宝, 大切なもの	36.4	95.5	25.0	81.3
	楽しくする	13.6		9.4	
	健康	13.6		3.1	
	良い関係, 仲良し	9.1		31.3	
	幸せにしたい	9.1		0.0	
	友達のように	4.5		9.4	
	スキンシップが大切	4.5		0.0	
	期待と希望がある	4.5		0.0	
	強いきづなで結ばれてる	0.0		3.1	
	±	うらやましい	0.0	0.0	6.3
-	尊敬してくれるかな	4.5	4.5	0.0	3.1
	喧嘩している	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		9.4	
合計		100		100	

表Ⅳ-1 領域Ⅳ 夫婦の関係

項目 妻と私は		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
反応内容					
+	仲が良い	50.0	90.9	62.5	84.4
	若い	13.6		12.5	
	子供の無事を願う	13.6		3.1	
	よく話し合う	9.1		0.0	
	良い親になる	4.5		3.1	
	酒を呑む	0.0		3.1	
±	たまには喧嘩をする	4.5	4.5	0.0	3.1
	心豊かな人間になる	0.0		3.1	
-	性格が違う	0.0	0.0	3.1	3.1
Rej (反応のないもの)		4.5		9.4	
合計		100		100	

がみられる。

(-)の反応としては、「別にない」とする反応が初妊婦の夫では18.2%であり、経妊婦の夫は50.0%と多い。

5. 領域Ⅴ 父親自身のこと

(1)私は子供の頃(表Ⅴ-1)

表Ⅳ-2 領域Ⅳ 夫婦の関係

項目 妻に対して私は		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
反応内容					
+	愛情ある, やさしい	22.7	77.2	25.0	56.3
	良い夫	18.2		12.5	
	協力的	18.2		0.0	
	感謝している	13.6		9.4	
	信用している	4.5		9.4	
±	大事にしようと思う がなかなか	4.5	13.6	6.3	6.3
	良い夫でないが, 努力	4.5		0.0	
	帰りが遅くてすまない	4.5		0.0	
-	協力しない	4.5	9.1	9.4	34.4
	亭主関白	4.5		0.0	
	気遣わない	0.0		18.8	
	甘えている	0.0		3.1	
	弱虫	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		3.1	
合計		100		100	

表Ⅳ-3 領域Ⅳ 夫婦の関係

項目 妻が妊娠して私の変わったことは

項目 妻が妊娠して私の変わったことは		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
反応内容					
+	責任を感じた	27.3	72.7	0.0	43.8
	いたわる	18.2		9.4	
	協力的	13.6		12.5	
	短気をおさえる	4.5		9.4	
	仕事に情熱を持った	4.5		6.3	
	健康に注意	4.5		3.1	
	タバコをやめた	0.0		3.1	
±	気遣うが行動なし	4.5	4.5	0.0	3.1
	神仏に祈る	0.0		3.1	
-	別になし	18.2	22.7	50.0	50.0
	心配性になった	4.5		0.0	
Rej (反応のないもの)		0.0		3.1	
合計		100		100	

(+)の反応として、初妊婦の夫では81.8%であり、過去を良いものとして振り返られている。経妊婦の夫では75.0%である。

(2)私は将来 (表V-2)

(+)の反応として、初妊婦の夫では90.9%であり、経妊婦の夫では75.0%である。反応の内容としては「立派な父親」になることを、初妊婦の夫は45.5%、経妊婦の夫は40.6%が考え、父親の責任を果たすことを考えている。初妊婦の夫では、「子供と酒を呑む」「子供を立派に育てる」夢があり、経妊婦の夫では「妻との旅行」も15.6%が夢みている。

(3)心配なことは (表V-3)

初妊婦の夫では「出産や子供」のことであり、経妊婦の夫では「子供の養育」のことについても心配している。

その他として「仕事」「いそがしい」「経済」のことなど、現実的な生活問題について心配をしている。

(4)困り果てたとき私は (表V-4)

(+)の反応として、初妊婦の夫では81.8%であり、経妊婦の夫では75.0%である。反応

の内容としては「妻や友人に相談」「時を待つ」「がんばる」「考える」などであり、そのときの対応を挙げている。初妊婦の夫の方が積極的な反応が多くみられる。

(-)の反応としては、初妊婦の夫では18.2%であり、経妊婦の夫では21.9%である。反応の内容では「泣く」「考えない」などであり、経妊婦の夫の方に多い。

表V-2 領域V 父親自身のこと
項目 私は将来

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	立派な父親	45.5	90.9	40.6	75.0
	やりたい夢がある	13.6		3.1	
	子供と酒を呑む	13.6		0.0	
	子供を立派に育てる	9.1		0.0	
	妻と二人で旅行	4.5		15.6	
	会社を大きくする	4.5		3.1	
	自分で仕事を持つ	0.0		9.4	
	平凡	0.0		3.1	
	±	転職したい	0.0	0.0	3.1
-	わからない	9.1	9.1	3.1	6.3
	もう子供はいらない	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		15.6	
合計		100		100	

表V-1 領域V 父親自身のこと
項目 私は子供の頃

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	元気のいい子	36.4	81.8	18.8	75.0
	不自由なし	18.2		6.3	
	おとなしい子	13.6		3.1	
	のびのび育つ	9.1		34.4	
	内向的、消極的	4.5		3.1	
	かわいい子	0.0		3.1	
	母親が好き	0.0		3.1	
	夢多い子	0.0		3.1	
-	弱虫、泣き虫	9.1	18.2	6.3	25.0
	甘えん防	9.1		3.1	
	何もなかった	0.0		6.3	
	病弱	0.0		3.1	
	親になれることを考えず	0.0		3.1	
	忘れた	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0	
合計		100		100	

表V-3 領域V 父親自身のこと
項目 心配なことは

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
子供	出産、子供のこと	54.5	54.5	34.4	46.9
	子供の養育	0.0		12.5	
妻	妻がそそかしいこと	4.5	4.5	0.0	3.1
	夫婦の考えの違い	0.0		3.1	
その他	別になし	27.3	40.9	15.6	46.9
	仕事、給料	13.6		0.0	
	いそがしい	0.0		12.5	
	経済	0.0		9.4	
	社会の平和	0.0		9.4	
	Rej (反応のないもの)	0.0		3.1	
合計		100		100	

(5)仕事(表V-5)

(+)の反応として、初妊婦の夫では68.2%であり、経妊婦の夫では50.0%で、当然ながら「がんばる」「生活」「義務」などの反応が多い。

しかし、(-)の反応としては、初妊婦の夫では27.3%であり、経妊婦の夫では43.8%が仕事についての悩みを表出している。「大変」が多いが、中には仕事について「迷い」「いやだ」「仕事のないとき」など、家庭との板挟みによる深刻な現実の問題も抱えている。

6. 領域VI 父親自身の親子関係

(1)父は(表VI-1)

(+)の反応として、初妊婦の夫では81.8%であり、経妊婦の夫では71.9%である。反応の内容としては「がんこ、しっかり者」「偉大」「やさしい」などと父への尊敬がみられる。

(-)の反応としては、初妊婦の夫では4.5%であり、経妊婦の夫では21.9%が、「おそろしい人」「子供の世話をしなかった」などと具体的に批判的な反応が表出されている。

(2)私は父と(表VI-2)

(+)の反応として、初妊婦の夫では63.6%であり、経妊婦の夫では40.6%が、「仲が良い」「働いた」「似ている」「よく遊んだ」と良い関係にある。

(±)の反応としては、初妊婦の夫では13.6%であり、「余り付き合いがない」ことを挙げている。経妊婦の夫では15.6%である。

(-)の反応では、初妊婦の夫では18.2%、経妊婦の夫では31.3%が、「付き合いがない」「喧嘩した」「恐い父」「思い出がない」などと反応している。

(3)父に甘えたこと(表VI-3)

(+)の反応として、初妊婦の夫では31.8%であり、経妊婦の夫では28.1%に、「幼い頃」のこと、「遊び相手」のことを思い出している。

表V-4 領域V 父親自身のこと
項目 困り果てたとき私は

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	妻に相談	22.7	81.8	18.8	75.0
	時を待つ	18.2		9.4	
	考える	18.2		9.4	
	がんばる	4.5		18.8	
	祈る	4.5		6.3	
	友人に相談	4.5		0.0	
	耐える	4.5		0.0	
	忘れる	4.5		0.0	
	スポーツをする	0.0		9.4	
	寝る	0.0		3.1	
-	泣く	4.5	18.2	9.4	21.9
	何も考えない	4.5		6.3	
	悩む	4.5		3.1	
	眠れない	4.5		0.0	
	あせる	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		3.1	
合計		100		100	

表V-5 領域V 父親自身のこと
項目 仕事

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	がんばる	18.2	68.2	9.4	50.0
	生活	13.6		15.6	
	義務, 男の面目	13.6		9.4	
	楽しい	13.6		3.1	
	順調	4.5		3.1	
	奉仕	4.5		0.0	
	生きがい	0.0		6.3	
	家事と仕事を区別する	0.0		3.1	
±	大変だが生活のため	4.5	4.5	3.1	3.1
-	大変, きつい	18.2	27.3	28.1	43.8
	迷う	4.5		9.4	
	いやだ	4.5		3.1	
	仕事のないとき悲しい	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		3.1	
合計		100		100	

表VI-1 領域VI 父親自身の親子関係
項目 父は

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	がんこ、しっかり者 偉大、一家の柱	40.9	81.8	18.8	71.9
	やさしい	22.7		37.5	
	男の子を希望	13.6		12.5	
	芸術センスの持ち主	4.5		0.0	
		0.0		3.1	
±	死んだ	13.6	13.6	3.1	3.1
-	弱い、かわいそう	4.5	4.5	3.1	21.9
	おそろしい人	0.0		9.4	
	子供の世話はせず	0.0		6.3	
	好きでない	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		3.1	
合計		100		100	

表VI-2 領域VI 父親自身の親子関係
項目 私は父と

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	仲が良い	22.7	63.6	6.3	40.6
	働いた	22.7		6.3	
	似ている	9.1		12.5	
	よく遊んだ	9.1		9.4	
	同居している	0.0		6.3	
±	余り付き合わない	13.6	13.6	6.3	15.6
	一緒にいたかった	0.0		6.3	
	思い出がある	0.0		3.1	
-	付き合いがない	9.1	18.2	12.5	31.3
	喧嘩した	4.5		6.3	
	怖い父	4.5		3.1	
	思い出がない	0.0		6.3	
	比べられた	0.0		3.1	
Rej (反応のないもの)		4.5		12.5	
合計		100		100	

(一)の反応として、初妊婦の夫では68.2%であり、経妊婦の夫では62.5%が、甘えたことが「ほとんどない」「思い出せない」と言い、また反応のない者もあり、父親への甘えの感情は希薄である。

表VI-3 領域VI 父親自身の親子関係
項目 父に甘えたこと

反応内容		初妊婦の夫(%)		経妊婦の夫(%)	
+	幼い頃、いろいろと 金銭的	27.3	31.8	12.5	28.1
	時々	4.5		0.0	
	野球相手	0.0		9.4	
	野球相手	0.0		3.1	
	大人になってからも	0.0		3.1	
-	ほとんどない	40.9	68.2	59.4	62.5
	思い出せない	27.3		3.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		9.4	
合計		100		100	

考察

子供の出生にあたり、父親として現在の妊娠の受容状況、将来の子供との関係、そして、父親自身の過去を振り返り、父親としてのイメージの状況について、その反応内容から問題を考えてみた。調査においては、(領域I)妊娠についてはポジティブな反応が多く、経妊婦の夫に比べて、より初妊婦の夫の方がよろこびとして受けとめている。実際には胎動を知ることによって、さらに子供の存在を実感してよろこびは増大しており、生まれてくる子供への認識を促すことは重要である。

出産については大事業として、初妊婦の夫も経妊婦の夫も同様に反応されている一方、「大変なこと」「理解できない」「不安」と述べられてもいる。調査では、出産についてはネガティブな状況も多い結果ではあったが、出産についての正しい知識を指導することによって、理解と協力の姿勢が培われるものと考えられる。最近では、出産に夫が立ち会い、また積極的に妻の介護や激励することが勧められており、妻もそれを望む傾向にある。出産についての考え方やそのあり方についての検討が必要であると考えられる。

生まれてくる子供については(領域II), 初妊婦の夫も経妊婦の夫も「良い子」であろうという期待は大きい。しかし実際に、子供が泣きやまないときは、感情的になり非受容的な言動が49.9%に考えられている。また、父親として子供を育てることの責任を果たし、良い父親への願望は大きい。が、父親として自覚のないことを認めている者や自信喪失の反応もみられる。子供を育てることはこれからのことであり、「大変なこと」「めんどろ」なこととして、経妊婦の夫では子育てを振り返りながらの初妊婦の夫との意識の違いもみられる。父親行動の難しさは、男性として夫として父親としてのそれぞれの役割を、子供とのやりとりの中で身につけ、いかに果たすかである。現実にはその役割の相克に悩むの者も多いと考えられるが、これからは、育児についての方法も考えて、準備しておくことは必要になるであろう。

父親の役割としては、父一母一子という三者関係により、父は母と子を丸ごと包むように守る役割があり、母子関係を発達させるためにも、父親の介入は必然であり、また母子関係のありようは父子関係の形成と発達にも重要な意味を持つ。役割を明確にし、父親の自己実現という認識も必要である。子供は母親とは肉体心理的につながり、父親とは社会心理的につながりを持つものである。子供は社会で働く父の姿を見ることによって、生活実践、生きることを学び、また父の価値規範に直接接触して良心を形成する。父親としては、必要な知識、技術、力量を備えて、父親の役割の達成に努めなければならない。

父親自身の振り返り(領域V)についての調査では、子供の頃のことについてはポジティブな反応が多い。そして将来は「立派な父親」子供への夢も多い。心配なこととして

は、「出産や子供のこと」が初妊婦の夫では54.5%、経妊婦の夫も「子供の養育」も含めて46.9%と多く、指導の必要性が考えられる。

父親自身の親子関係では父に対する感情は(領域VI)、ポジティブな反応が大きく、畏敬の念が強く感じられる。しかし一方、ネガティブな反応としては、経妊婦の夫では「おそろしい人」「子供の世話はしなかった」と振り返られている。父との関係については、尊敬しつつも淡泊な傾向がみられ、父に甘えたことになる、甘えがほとんどないネガティブな反応が多い。

子供の成長について良い親子関係が作られるように、子供との対応についても学習が必要になると考えられる。

父親の持っている性格や社会関係における満足度は、子供の性格形成その他と密接な関係を持つ。父との健康な同一化が行われたときは、父を愛しつつ乗り越えてゆくものである。良い父子関係を育成するために、父親自身のことについての振り返りによって、ネガティブな反応に対しては、より良い父親像が形成されるように、対応の検討が重要である。

さらに父親としての十分な役割を果たすためには、夫婦の信頼関係と努力もまた必要になる。夫婦の関係(領域IV)についてみると、初妊婦の夫ではポジティブな反応が多い。しかし妊娠によって変わったこととして、「協力的」と反応しているのは、初妊婦の夫では13.6%、経妊婦の夫では12.5%であり、妊娠しても「別に変わりなし」という反応が多い。妊娠や子育ては、心身の負担の大きいことから精神的ないたわりと共に、妻が希望する協力を実際に示して、妊娠を共有するように勧めることが重要であると考えられた。

おわりに

調査では、項目の反応内容について注目した。温かな父子関係の成立について、妊婦の夫を中心としてその特徴を知ることができた。方法としては主観的な評価を行ったが、評価の信頼性についての考慮は重要であり、客観的に、反応の結果についてもさらに検討に努めなければならない。

実際の指導にあたっては、個々の反応における問題点について、背景をも考慮して的確に把握をする。特にネガティブな感情を受けとめることも大切であり、妊婦の夫に対しての援助方法について検討の必要性が考えられた。

文献

- 1) 佐々木敦子, 武井とし子, 三輪百合子: 文章完成法による妊婦の母親像, 信州大学医療短大紀要, 14(2): 81-107, 1988.
- 2) 三輪百合子, 佐々木敦子, 武井とし子: 育児期における母親像の追究, 信州大学医療短大紀要, 17: 29-44, 1991.
- 3) 川井 尚: 妊娠期の心と母子関係, 助産婦雑誌, 136(6): 465-472, 1984.
- 4) 馬場謙一: 父親の深層, 有斐閣, 1984.
- 5) 入内島明美, 他: 妊娠分娩と夫の役割, 助産婦雑誌, 338(3): 136-143, 1979.
- 6) 柏木恵子: 父親の発達心理学, 川島書店, 1993.
- 7) 川井 尚: 育児における父親の役割, 小児保健研究, 51(6): 671-678, 1992.
- 8) 小比木啓吾: 周産期における父親の役割, 周産期医学, 18(1): 115-119, 1988.
- 9) 松本清一: 母性と父性, 母性衛生, 33(1): 5-16, 1992.
- 10) 中塚勝俊: 父性の課題, 助産婦雑誌, 44(1): 8-13, 1990.
- 11) 二宮恒夫: 夫が「父親」になるためのサポート, 助産婦雑誌, 49(7): 537-542, 1995.
- 12) 緒方妙子, 他: 父性意識と行動調査, 日本助産学会誌, 6(2): 29-31, 1993.
- 13) 上田礼子: 親子間の性役割観の関連に関する研究, 母性衛生, 34(4): 515-520, 1993.

受付日: 1995年10月2日

受理日: 1995年11月21日